

# 妖怪の民俗学 [日版]



[妖怪の民俗学 \[日版\] 下载链接1](#)

著者:宮田 登 (著)

出版者:筑摩書房

出版时间:2002/06

装帧:14.8 x 10.4 x 1.4 cm

isbn:9784480086990

妖怪はいつ、どこに現われるのだろうか?妖怪の出てくる場所は決まっていて、特定の相手をえらばず、大勢の人間に對して何かを交渉しようとするという。一「都市の周辺」「たそがれ時」「若い女性」などはそのキーワードである。日本各地の調査と柳田国男・井上円了らの研究の再検討を通じて、様々な怪異現象を分析し、妖怪とは何か、妖怪のトポロジーとはどのようなものか、さらに都市空間の持つ魔性についても探究する

作者介绍:

宮田 登

1936年、神奈川県生まれ。東京教育大学文学部卒業。同大学大学院修了。筑波大学教授、神奈川大学教授を務める。その関心は民俗学にとどまらず、日本史学、人類学等、周辺諸学において、研究の成果は国内外で評価された。2000年に逝去(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[妖怪の民俗学\[日版\] 下载链接1](#)

## 标签

妖怪学

民俗学

日本文化

妖怪

民俗

文化

怪談

论文

评论

害怕

---

[妖怪の民俗学\[日版\]\\_下载链接1](#)

书评

---

[妖怪の民俗学\[日版\]\\_下载链接1](#)